



平成27年5月13日

各 位

会 社 名 富士急行株式会社
代 表 者 代表取締役社長 堀内 光一郎
(コード番号 9010 東証第1部)
問合せ先 取締役執行役員 I R 推進室長
兼経営管理部長 和田 一成
(TEL 0555-22-7120)

富士急グループ「2015-2017年度」中期経営計画の策定について

富士急行株式会社は、経営理念『いつも「喜び・感動」』に基づき、さらなる企業価値の向上を目指し、富士急グループ「2015-2017年度」中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

つきましては、経営戦略としては、「Integrated 『Greater 富士山』 戦略」を推進し、当社グループは十二分に安全を心がけ、「夢・喜び・やすらぎ・快適・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

中期経営計画の概要は別紙の通りです。

以 上

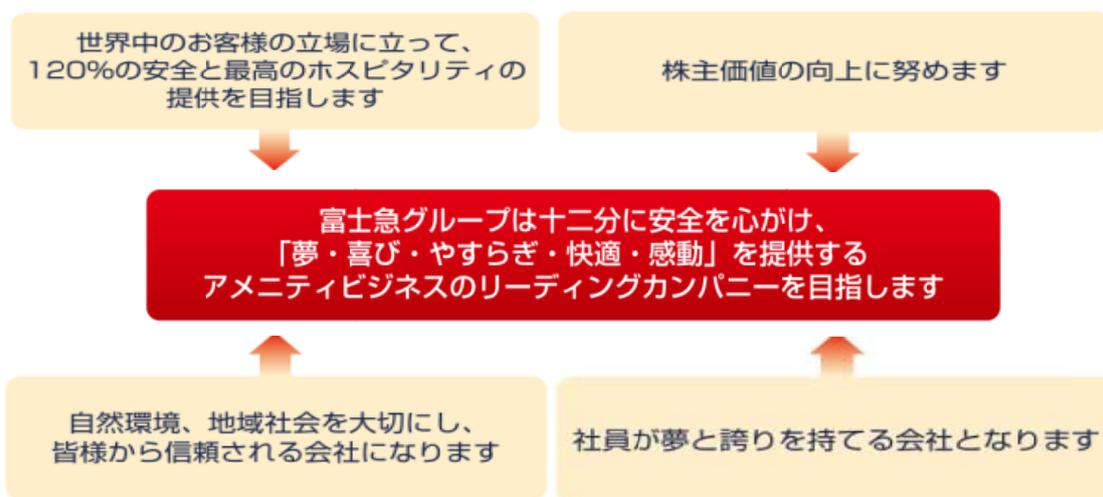
(別紙)

1. 経営基本方針

(1) 経営理念

いつも「喜び・感動」

(2) 経営ビジョン



2. 中長期的な会社の経営戦略

「Integrated 『Greater 富士山』 戦略」

『Greater 富士山』において、経営資源の一体化による価値向上を図り、国内外の幅広い客層から多面的な需要を取り込みます。



『FUJI-Q RESORTS』ブランドの構築
「Integration」を図る『FUJI-Q RESORTS』ブランドを立ち上げます。



3. 目標とする経営指標

(1) 2016年3月期～2018年3月期の3ヵ年累計

単位：億円

営業収益	1,596
営業利益	157
経常利益	131
当期純利益(※)	70

※財務諸表上の表記は「親会社株主に帰属する当期純利益」となります。

本中期経営計画の内容は、種々の前提に基づき策定したものでありますが、この計画は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により変動する可能性があることをご留意ください。

(参考) 2013年3月期～2015年3月期の3ヵ年累計

単位：億円

営業収益	1,414
営業利益	116
経常利益	94
当期純利益	48

(2) 有利子負債

単位：億円

	2015年 3月期	2018年 3月期
有利子負債 (金融機関借入金)	528	518
リース債務 (オフバランスリース含む)	54	72

(3) 資産効率

持続的な向上を目指します。

単位：%

	2015年 3月期	2018年 3月期
ROA (総資産経常利益率)	3.9	4.7以上

(4) 株主還元

連結配当性向30%を目途に安定的な配当を継続します。